

第3期 周南市観光ビジョン

長野山ロッジ「天空カフェ」



三丘ゆめ広場「学びの椅子」



永源山公園「ゆめ風車」



「周南工場夜景」



周 南 市
令和 2（2020）年 3 月

目 次

第 1 章 周南市のまちづくりと目指す観光	2
第 1 節 社会情勢の変化と観光ビジョン策定の背景	2
第 2 節 観光ビジョンの位置付けと期間	3
第 3 節 周南市の目指す観光	5
第 2 章 周南市の観光の現状	8
第 1 節 観光客数の推移	8
第 2 節 地域資源の認知度と興味度	10
第 3 節 交通アクセスの状況	13
第 3 章 重点推進施策の展開について	15
第 1 節 日常をときほぐす観光の展開【重点推進施策Ⅰ】	15
第 2 節 まちなか観光の展開【重点推進施策Ⅱ】	19
第 3 節 夜型観光の展開【重点推進施策Ⅲ】	21
第 4 章 基本施策の展開について	23
第 1 節 特色ある観光地づくり【基本施策①】	23
第 2 節 効果的な情報発信【基本施策②】	25
第 3 節 受入体制の充実【基本施策③】	26
第 4 節 集客力につながる連携の強化【基本施策④】	27
第 5 節 コンベンション誘致の推進【基本施策⑤】	29
第 6 節 国際観光の推進【基本施策⑥】	31
第 5 章 計画の推進にあたって	33
第 1 節 共通認識と情報共有の確立	33
第 2 節 役割分担の明確化	33
<参考資料>	35
1 周南市の強み・弱み・機会・脅威の整理(SWOT 分析)	35
2 周南市の主要な地域資源	36
3 用語解説	39
4 第 3 期周南市観光ビジョン策定の経過	40
5 アドバイザー及び第 3 期周南市観光ビジョン策定委員	40

第 1 章 周南市のまちづくりと目指す観光

第 1 節 社会情勢の変化と観光ビジョン策定の背景

本市は、平成 27(2015)年に策定した第 2 次周南市まちづくり総合計画（以下「総合計画」という。）において「人・自然・産業が織りなす 未来につなげる 安心自立都市 周南」を将来の都市像と位置付け、まちづくりを進めており、観光分野においては、「まちの賑わいづくり」や「地域の活性化」に向けて事業を進めてきました。

この間に、少子高齢化や人口減少の進行、非正規雇用者の増加、地方分権の進展、国・地方の財政悪化の長期化など、社会を取り巻く情勢は大きく変化し、近年では働き方改革が進み、ワーク・ライフ・バランスの実現が重視されるようになりました。

このような中、個人の価値観やライフスタイルの多様化が進み、旅行意識や観光消費、旅行市場も大きく変化し、観光名所や大規模観光施設を訪れる「観る観光」から、地域の生活や食文化等の地域資源^{*1}を「五感で感じる体験型観光」への関心が高まっています。

さらに、観光ニーズの多様化や余暇時間の増加等に伴い、観光列車やクルーズ船を利用して移動時間と宿泊時間を充実させるなど、家族や友人等と一緒に「特別感」を楽しむことを目的とした旅行スタイルも徐々に広がっています。

こうした旅行動態の変化において、国は、真の観光立国となるために、平成 28(2016)年 3 月に「明日の日本を支える観光ビジョン」で設定した目標達成に向け、訪日外国人旅行者の目標を令和 2(2020)年に 4,000 万人、令和 12(2030)年には 6,000 万人とするなど、インバウンド^{*2}施策を強力に推進し、持続可能な観光先進国の実現を目指しています。

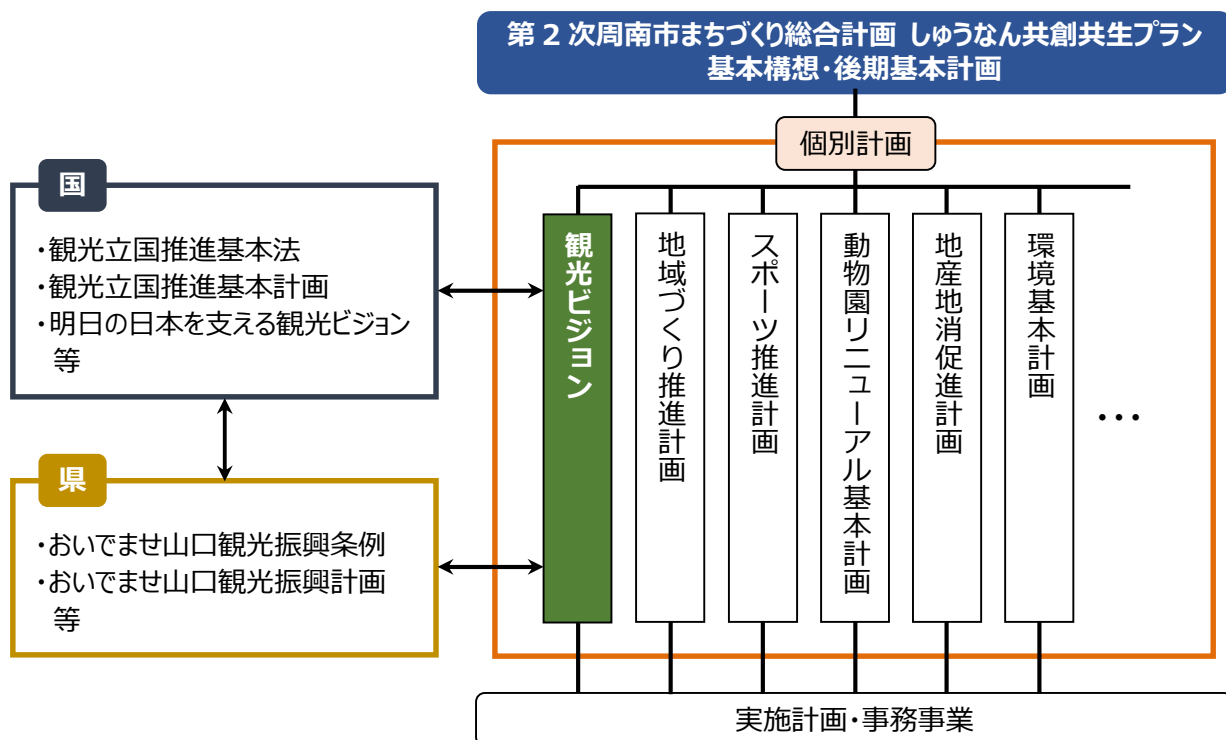
また、県においては、平成 27(2015)年に、魅力ある観光地域づくりを進める推進主体である「日本版 DMO」^{*3} の考え方を取り入れ、県民総がかりによる観光目的地山口県の実現に向けた取り組みを進めるため、「おいでませ山口観光振興条例」を制定しました。平成 29(2017)年 3 月には、県内の観光振興において取り組むべき施策を総合的・体系的に整理した指針として、「おいでませ山口観光振興計画」を策定し、全県を挙げた観光振興の取り組みを進めることとしています。

本市においては、総合計画後期基本計画の 5 年間で重点的に取り組む、住みたい・訪れたいまちづくりを推進するため、観光分野における個別計画として、本市の観光の目指すべき方向性を明らかにし、官民が協働して時代に即した観光施策に取り組む指針として、新たな第 3 期周南市観光ビジョン（以下「本ビジョン」という。）を策定します。

第2節 観光ビジョンの位置付けと期間

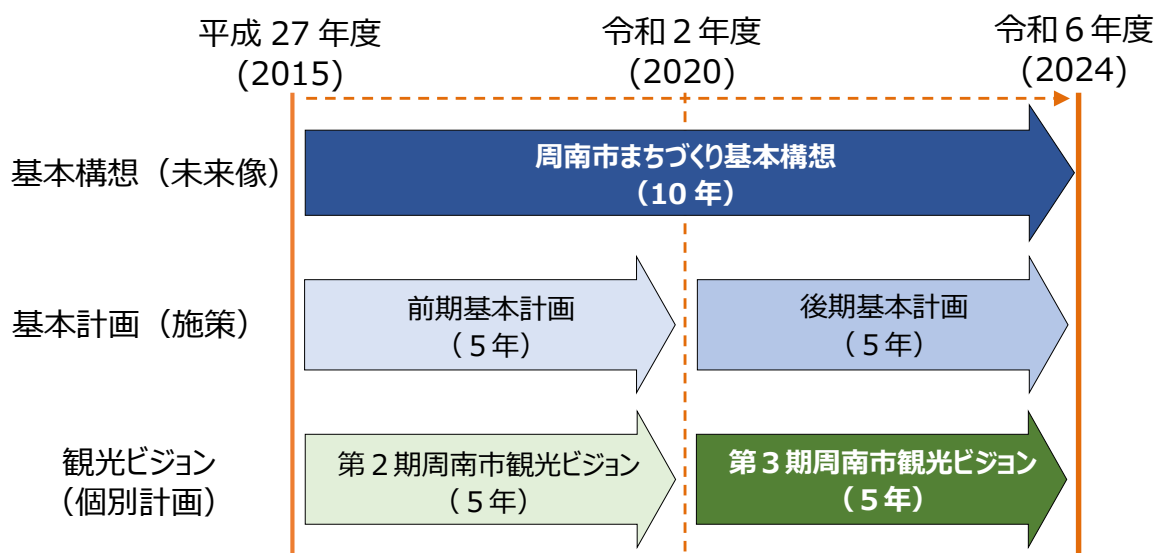
1 位置付け

本ビジョンは、本市の最上位計画である総合計画で掲げる、まちづくりの方向のひとつである「活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり」の実現に向けて、観光分野における個別計画として、前期個別計画を踏襲しつつも状況に即した新たな取り組みを加えながら、今後の方向性をまとめたものです。



2 期間

本ビジョンは、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間を計画期間とします。



第2次周南市まちづくり総合計画

基本構想（10年）

- 将来の都市像
- まちづくりの基本理念



後期基本計画（5年）

重点推進プロジェクト

基本的な視点(1) 市民に寄り添う

- ① みんなで子育て応援プロジェクト
- ② 輝く子ども育成プロジェクト
- ③ 市民を守る防災・減災プロジェクト
- ④ 安心安全実感プロジェクト

基本的な視点(2) シビックプライドを育む

- ⑤ 住みたい・訪れたいまち創造プロジェクト
・地域資源を活かした「日常をときほぐす観光」の推進
・徳山動物園リニューアルの推進 など
- ⑥ 暮らしやすいコンパクトなまちづくり推進プロジェクト
- ⑦ 持続可能な中山間地域づくりプロジェクト

基本的な視点(3) 周南の強みを活かす

- ⑧ 地域経済を支える産業力強化プロジェクト
- ⑨ 地域産品のブランド力強化プロジェクト
- ⑩ 安定した行財政運営プロジェクト

施策の体系

分野別計画（9 分野 31 基本施策 120 推進施策）

● まちづくりの方向

(1) 元気で心豊かな人を育むまちづくり

分野① 教育・子育て

(2) 無限の市民力を発揮できるまちづくり

分野② 生涯学習・人権 分野③ 地域づくり

(3) 安心して健康に暮らせるまちづくり

分野④ 安心安全 分野⑤ 福祉・健康・医療

(4) 活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり

分野⑥ 産業・観光
基本施策 観光交流の推進
推進施策 1 ニューツーリズムの推進
2 観光客の受入環境の充実
3 動物園の魅力向上

(5) 環境にやさしく快適で利便性の高いまちづくり

分野⑦ 生活基盤 分野⑧ 環境共生

(6) 最大限の行政力を発揮するまちづくり

分野⑨ 都市経営

第3節 周南市の目指す観光

～ 観光振興における基本理念 ～

**人と自然と産業が輝きを魅せる
賑わいあふれる
おもてなしのまち周南**

1 基本理念

本市は、南は瀬戸内海に臨み、沖合には大津島をはじめとする島々が徳山湾を形作り、沿岸部には本市の繁栄の源でもあるコンビナートの工場群が連なり、それに沿って市街地があります。また、その背後には中国山地の山々やのどかな田園風景の中に集落が点在するなど豊かな自然が広がっています。

こうした本市の自然や産業、そして、そこで暮らす人々の生活を含めたすべてを地域資源として捉え、その魅力を掘り起こし、磨き上げていくことで、魅力ある観光資源として活用することができます。

また、観光の振興は、交流人口の拡大を図り、それに伴う地域の活性化や経済循環の高まりなど本市の賑わいの創出と発展につながるものです。

こうしたことから、今後さらに官民が連携し、本市の強みを生かした観光コンテンツの掘り起こしや魅せ方、受入れの体制づくり、情報発信などに取組むとともに、市民自らが地域に対する愛着や誇りを高め、シビックプライド^{*4}を育むことで、おもてなしの意識の醸成を図ります。

これらを踏まえ、観光によるまちづくりに向けて、「**人と自然と産業が輝きを魅せる 賑わいあふれる おもてなしのまち周南**」の実現を目指します。

2 目標

本ビジョンの目標指標を年間観光客数とし、様々な施策の推進や官民が連携した取り組みなどを進めることを踏まえ、目標値は次のとおりとします。

目標指標	現状値	目標値	指標等の説明
年間観光客数	平成 30 年 (2018 年)	令和 6 年 (2024 年)	<u>観光客動態調査</u> ^{*5} に基づく数値 で、暦年（1 月～12 月）の数値
	165 万人	180 万人	

目標値の達成に向けては、これまでの取り組みを加速化するとともに、本ビジョンで掲げる施策の展開を図っていきます。

3 基本方針

(1) 観光コンテンツ等の充実

旅行形態や観光ニーズに対応した、既存の観光コンテンツの磨き上げや充実とともに、新たな地域資源を掘り起こし、観光コンテンツとしての活用を推進します。

また、効果的でタイムリーな情報発信やおもてなしを含めた観光客を受け入れる体制を充実させる等により、観光客の満足度を高めます。

(2) 観光誘客の推進

本市だけでなく広域的な取り組みを進めるとともに、コンベンション^{*6}の誘致による来訪者を観光へと誘導する等、観光誘客につながる取り組みを推進します。

また、国際観光についても、山口県等と連携してターゲットを絞った取り組みを推進します。

4 施策の展開

本ビジョンでは、基本理念である「人と自然と産業が輝きを魅せる 賑わいあふれる おもてなしのまち周南」の実現に向けて、観光振興をより効果的、戦略的に推進するため、新たな視点による3つの重点推進施策を掲げるとともに、これまでの6つの基本施策を継承し、様々な施策を計画的かつ総合的に展開します。

(1) 重点推進施策

- I 日常をときほぐす観光の展開
- II まちなか観光の展開
- III 夜型観光の展開

(2) 基本施策

基本方針 1（観光コンテンツ等の充実）

- ① 特色ある観光地づくり
- ② 効果的な情報発信
- ③ 受入体制の充実

基本方針 2（観光誘客の推進）

- ④ 集客力につながる連携の強化
- ⑤ コンベンション誘致の推進
- ⑥ 国際観光の推進

第3期周南市観光ビジョン

令和2(2020)年～令和6(2024)年の間に取り組む観光振興施策

1 基本理念

人と自然と産業が輝きを魅せる 賑わいあふれる おもてなしのまち周南

2 目標

年間観光客数
令和6(2024)年
180万人

3 基本方針

(1) 観光コンテンツ等の充実

(2) 観光誘客の推進

4 施策の展開

(1) 重点推進施策

- I 日常をときほぐす観光の展開
- II まちなか観光の展開
- III 夜型観光の展開

(2) 基本施策

- ① 特色ある観光地づくり
- ② 効果的な情報発信
- ③ 受入体制の充実
- ④ 集客力につながる連携の強化
- ⑤ コンベンション誘致の推進
- ⑥ 国際観光の推進

第2章 周南市の観光の現状

第1節 観光客数の推移

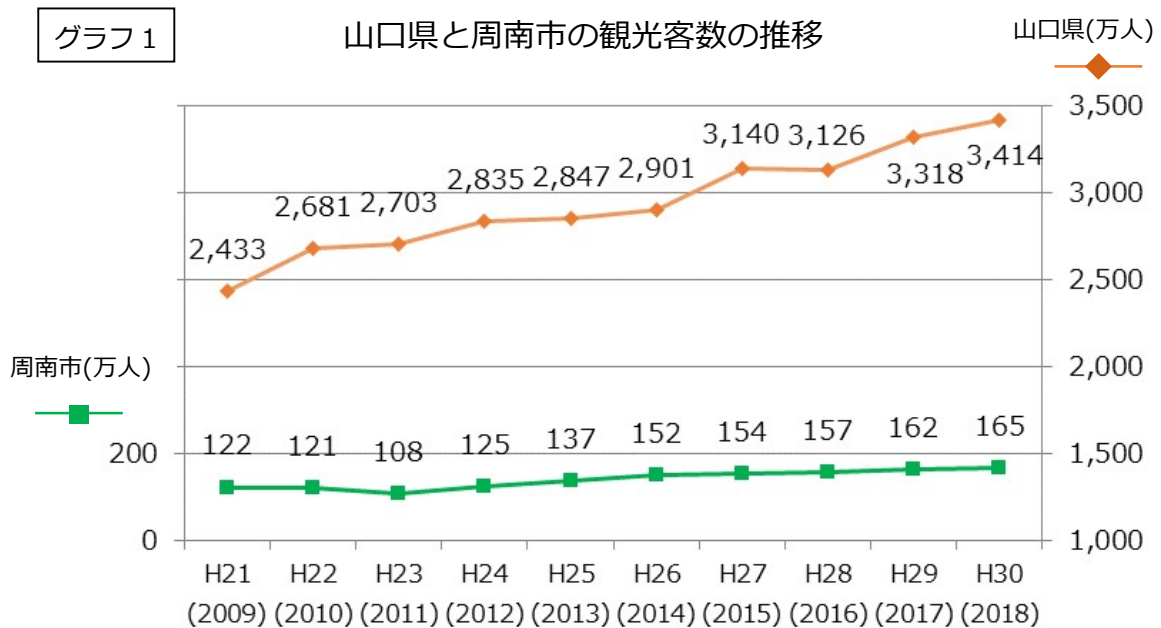
1 観光客数の増加に向けた現状と取り組み

本市の観光客数は、平成 26(2014)年から平成 30(2018)年にかけて新規イベントの開催や道の駅「ソレーネ周南」の開設などにより約 14 万人増加しましたが、第2期周南市観光ビジョン（以下「前ビジョン」という。）で設定した令和元(平成 31/2019)年の年間観光客数 180 万人の目標には、下記グラフのとおり、15 万人程度の差があることから達成は難しい見込みです。

この要因としては、大河ドラマや山口幕末 ISHIN 祭など県内大型イベントなどの開催による本市への波及効果及び誘客対策が不足していたことや、全国的な国内旅行者数の減少も影響しているものと考えられます。

これまでの観光客数の増加に向けた新たな展開としては、徳山湾に広がるコンビナート群が醸し出す工場夜景を地域資源と位置付けた夜景鑑賞ツアーや周南冬のツリーまつりのイルミネーションの充実など、夜景を中心とした事業の推進を図ってきました。

また、防府市との2市及び下松市・光市との3市の観光広域連携に取り組み、観光キャンペーンやモニターツアーの実施など、広域エリアでの観光客数増加に向けた施策も展開しています。



※ 第1期周南市観光ビジョンの計画期間(8年) H19(2007)年4月～H27(2015)年3月

※ 第2期周南市観光ビジョンの計画期間(5年) H27(2015)年4月～R2(2020)年3月

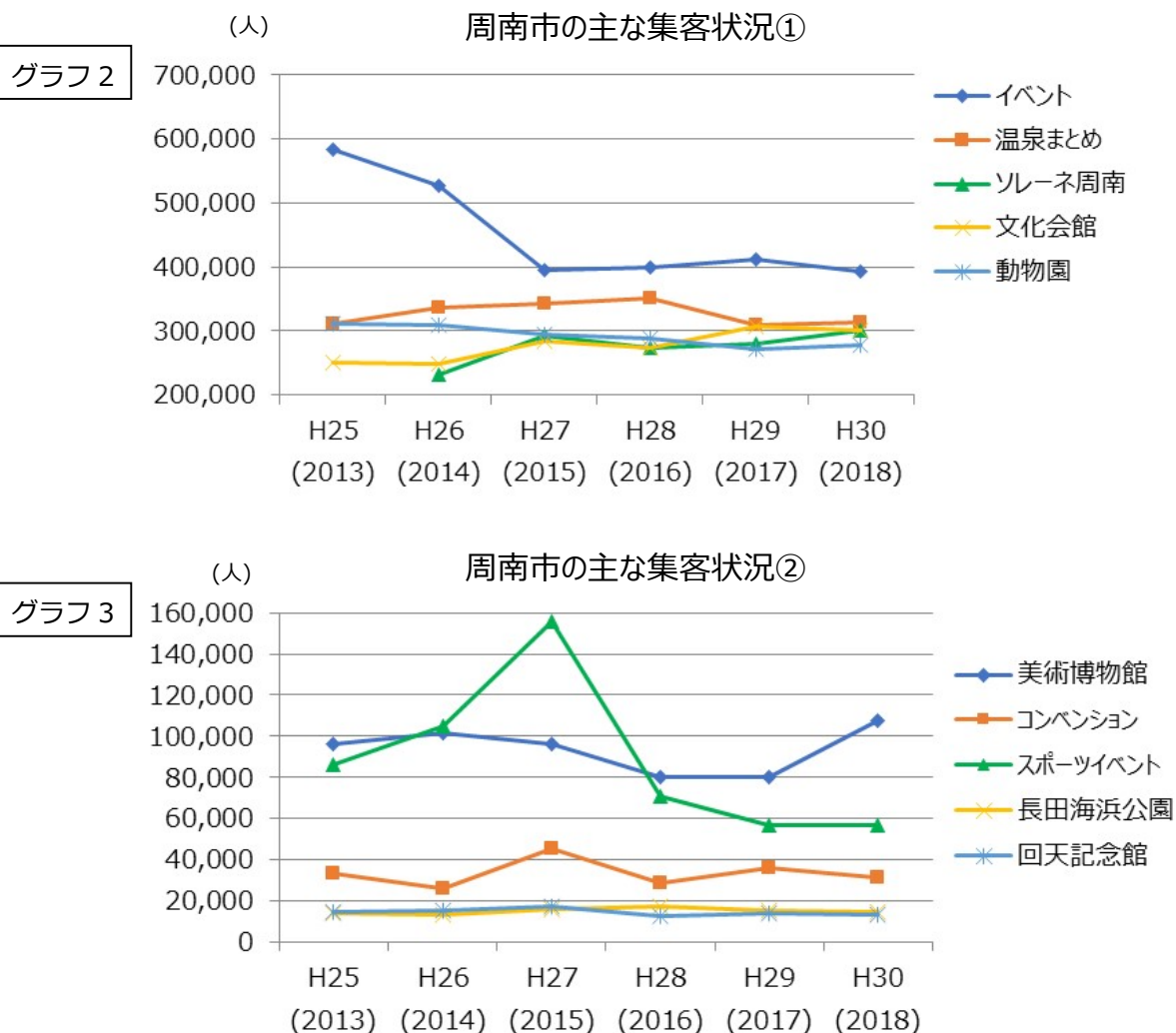
【出典】山口県及び周南市の「観光客動態調査」

2 観光客動態調査

山口県では毎年、主要な観光施設やイベントに訪れた観光客数について調査及び公表をしています。前頁グラフ1のとおり、平成26(2014)年以降、大型イベント等の効果により増加傾向にあり、約500万人の増となっています。本市では、前述のとおり目標達成は難しい見込みですが、徐々に増加し、約13万人の増となっている状況です。

本市の主な集客状況は下記グラフのとおりです。グラフ2における平成27(2015)年のイベント参加者の減少は、国の指針に基づいた対象イベント・集計方法等の見直しによるものです。グラフ3における同年のスポーツイベントの参加者の増加は、大規模なスポーツ大会の開催が重複した結果によるものです。

また、主要な観光施設である徳山動物園の入園者数は、リニューアル事業や天候の影響により30万人前後の推移にとどまる一方で、道の駅「ソレーネ周南」は、開設した平成26(2014)年から、平成30(2018)年までに約7万人増となるなど増加傾向にあります。その他、周南市文化会館や周南市美術博物館においても充実した展示や興行により来館者数を伸ばしていることから、市全体における観光客数の増加を支える要因となっています。



【出典】山口県及び周南市の「観光客動態調査」

第2節 地域資源の認知度と興味度

観光振興においては、地域にとって誇れる資源を広く発信し、求められる情報をタイムリーに提供するための情報発信力が重要ですが、そのための情報収集等に必要な人材や資金には限りがあり、より効率的、効果的な情報発信のためには、マーケティング調査によりターゲットを絞る必要があります。

そこで、山口県が、平成 30(2018)年に、県内の市町から抽出した地域資源や体験プログラムの候補地を各 22 項目に集約し、大都市圏等からの観光客を対象として、志向やニーズを明らかにするため、観光地等の認知度、興味度に関する G A P 調査^{*7}を行いました。

■ G A P 調査

1 調査主体	山口県総合企画部中山間地域づくり推進課
2 調査名称	都市農山漁村交流に関する都市圏在住者動向調査
3 調査会社	株式会社リクルートライフスタイル ジャーナリサーチセンター
4 調査期間	平成 30(2018)年 11 月 2 日、3 日
5 調査方法	アンケート方式（ウェブ調査）
6 調査対象	2,074 サンプル
居住地	関東(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)25.0%、関西(大阪府、京都府、兵庫県)25.0%、広島県、岡山県 25.0%、福岡県 15.0%、山口県 10.0%
男女比	男性 49.8%、女性 50.2%
年代	20～24 歳 5.7%、25～29 歳 8.7%、30～34 歳 18.7%、35～39 歳 9.0%、40～44 歳 12.0%、45～49 歳 12.5%、50～54 歳 9.2%、55～59 歳 7.7%、60 歳以上 16.6%

※山口県中山間地域づくり推進課ホームページ「都市農山漁村交流に関する都市圏在住者動向調査」参照

G A P 調査では、県全体の中で、他市町と比較した本市の観光の現在位置や、地域資源に対する認知度や興味度について確認することができます。

本調査報告書の結果によると、県への旅行経験では、下表のとおり、回答者の内 15.8%が本市への来訪経験者ですが、その居住都道府県は、県内が 59.6%と最も多く、続いて広島県・岡山県 18.5%、福岡県 14.4%となっています。

Q.あなたは、山口県内のどの市町に訪問経験がありますか（複数回答可）〔クロス集計〕 (%)

	全 体	関 東	関 西	広島県、岡山県	福岡県	山口県内
全体（人）	2,074	518	518	518	312	208
下関市	62.5	49.4	50.6	66.0	84.9	82.7
萩 市	53.3	48.8	46.1	56.4	51.0	78.4
山口市	48.0	38.4	44.2	46.3	48.1	85.1
岩国市	41.8	31.3	32.0	58.5	29.8	68.3
宇部市	22.6	16.4	10.4	20.5	22.4	73.6
防府市	21.0	9.3	8.1	28.0	15.4	73.1
周南市	15.8	5.4	6.6	18.5	14.4	59.6
下松市	12.2	3.5	3.9	14.3	9.0	54.8
光 市	10.2	3.7	4.4	11.4	5.1	45.2

※報告書より一部抜粋

山口県のイメージについては、下表のとおり、自家用車で訪れるイメージを持つ人が 90% 以上で、グルメ、魚、自然のイメージが全体的に高くなっています。

Q.山口県のイメージについてお答えください【クロス集計】

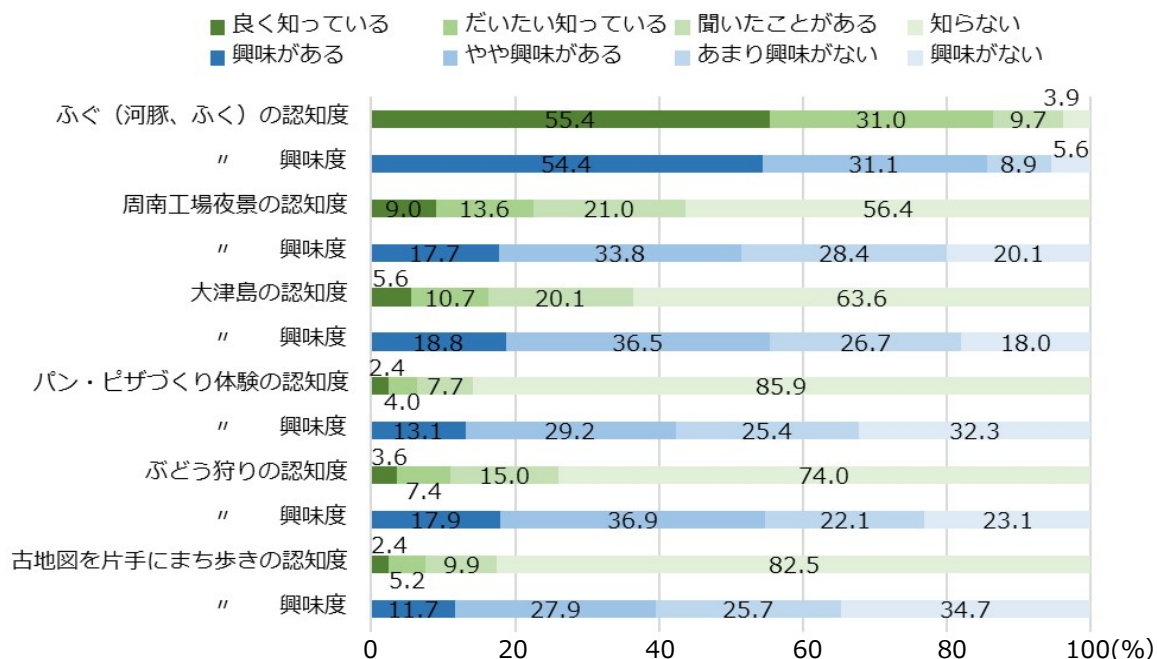
(%)

	全 体	関 東	関 西	広島県、岡山県	福岡県	山口県
全体（人）	2,074	518	518	518	312	208
近い(アクセスが良い)	45.9	12.2	21.6	66.8	84.0	80.8
遠い(アクセスが悪い)	57.2	86.7	80.7	37.5	23.1	25.5
電車で訪れるところ	29.4	34.7	39.2	20.7	23.7	22.1
新幹線で訪れるところ	45.7	64.9	64.1	28.8	21.2	30.8
自家用車で訪れるところ	71.0	34.4	64.9	91.3	94.9	91.3
飛行機で訪れるところ	21.6	60.4	10.0	5.2	5.8	17.8
美味しい食材が豊富	81.1	77.2	81.7	83.8	81.1	82.7
美味しいご当地グルメが豊富	72.2	68.1	73.7	74.7	74.7	68.3
特に魚が美味しい	79.1	74.3	79.5	78.4	82.1	87.0
自然に恵まれたところ	90.2	88.8	90.7	90.2	90.7	91.3
まち歩きが楽しめるところ	58.4	65.6	62.2	54.1	56.4	45.2

認知度と興味度については、下棒グラフのとおり、地域資源のうち、本市の「周南工場夜景」と「大津島」は認知度（良く知っている＋だいたい知っている＋聞いたことがある）が低いものの、興味度（興味がある＋やや興味がある）は比較的高くなっています。なお、山口県を代表する「ふぐ」は、認知度、興味度ともに最も高く、いずれも 90%を超えています。

また、体験プログラムのうち、本市の大田原自然の家で実施している「パン・ピザづくり体験」については、認知度は低いものの、興味度は比較的高くなっており、その他、「ぶどう狩り」（他市）や、県内各地の「古地図を片手にまち歩き」といった、本市でも実施している体験プログラムについても、認知度の低さと比較して興味度が高い結果となっています。

地域資源と体験プログラムに関する認知度と興味度

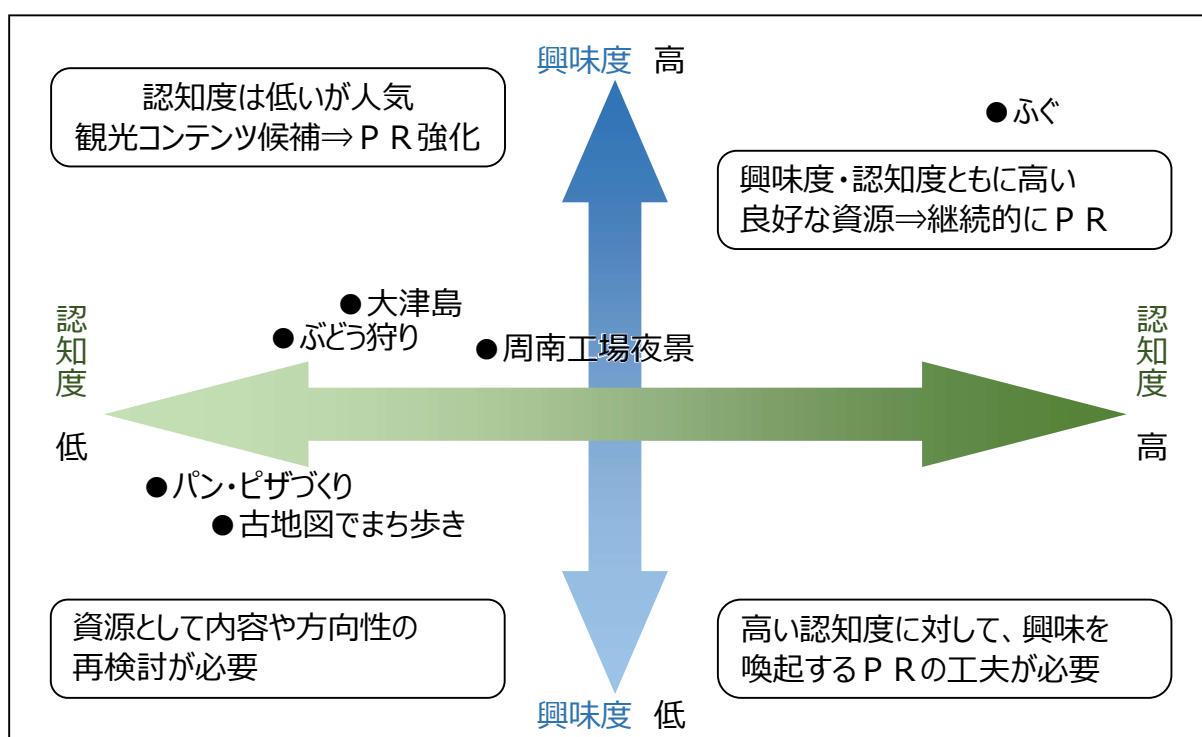


今回のGAP調査の結果は、本市の特性を、より効率的かつ効果的に観光振興に生かすため、マーケティング数値として活用できます。

エリアターゲットとしては、県内はもとより、自家用車を利用して来訪できる近隣県が中心として考えられます。

また、「周南工場夜景」や「大津島」は、近隣の若者層の興味度が高いため、他の興味度の高い地域資源や体験プログラムと組み合わせ、テーマ型やニューツーリズム^{*8}商品としてターゲット層へ情報発信することが、PRの強化に効果的であると考えられます。

■観光資源に関する認知度・興味度〔散布図〕



徳山ふぐ

第3節 交通アクセスの状況

本市には、山陽新幹線「のぞみ」や「さくら」が停車するなどの交通結節点^{*9}であるJR徳山駅、また、市内4ヶ所に高速道路のインターチェンジがあり、さらに、天然の良港である徳山下松港を擁し、大分県竹田津港を約2時間で結ぶ周防灘フェリーが運航するなど、優れた交通アクセスを有しています。

こうした交通面の利便性の良さを生かした取り組みとして、観光客やビジネス来訪者を対象として、市の強みや特性を踏まえたニューツーリズムのほか、ボランティアガイドによる名所巡りなど、おもてなし観光の充実を図っています。

アクセス



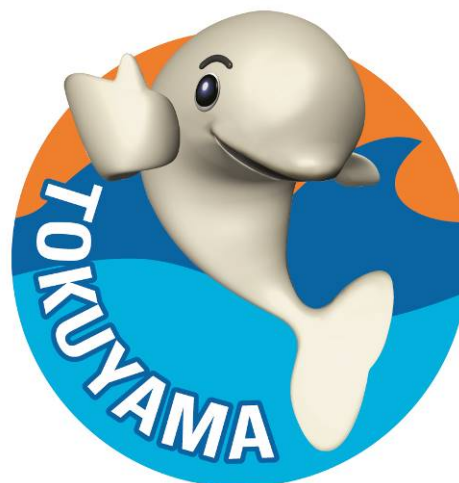
■ 観光関係のシンボルマーク等の紹介



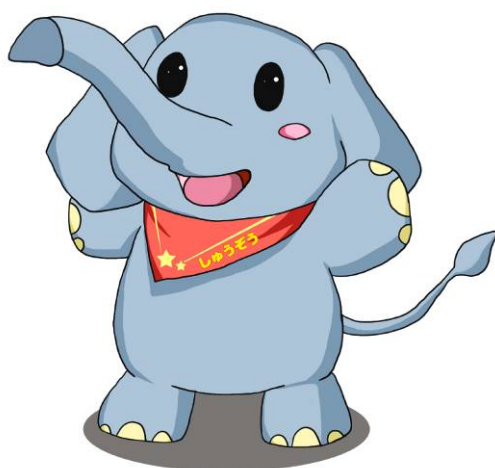
周南のナベヅルシンボルマーク



永源山公園
「ゆめ風車」



ボートレース徳山
マスコットキャラクター「すなっち」



徳山動物園
ゾウのマスコットキャラクター「しゅうぞう」

第3章 重点推進施策の展開について

昨今の本市を取り巻く観光の状況を鑑みて、交流人口の拡大や地域経済の活性化、地域への愛着や誇りの醸成を図るためには、地域資源を最大限に活用した取り組みを進めることが必要であることから、新たに3つの重点推進施策を展開します。

重点推進施策には、主に中山間地域での「日常をときほぐす観光の展開」と市街地における「まちなか観光の展開」、「夜型観光の展開」を掲げ、いずれも地域資源を有効に活用し、地域経済の循環及び活性化を目指すものであり、情報を共有・発信することで、周南市全域において活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくりに向けた観光交流を推進します。

第1節 日常をときほぐす観光の展開 【重点推進施策Ⅰ】

1 主旨

日常をときほぐす観光とは、主に中山間地域における、スローツーリズム^{*10}やグリーンツーリズム^{*11}などを発展させ、自然や歴史、伝統文化、食、人々が持つ知恵や技などの魅力ある地域資源を有効活用することによって、交流人口の拡大による地域経済の循環及び活性化につなげることをいいます。

また、持続可能な中山間地域づくりに向けて、生活している人々に地域への愛着や誇りの醸成及び来訪者へのおもてなし力の向上を図るなど、観光という視点での地域づくりに取り組み、地域の活性化につなげます。

2 現状と課題

近年、観光目的の旅行者のニーズは、一般的に観光地を訪れ、自然や施設等を観て、飲食や土産物の購入、移動手段等を楽しむ「モノを消費する観光」から、体験・交流・感動を五感で味わい楽しむ「コトを消費する観光」へと変化している傾向にあります。

そうした中、特に市街地で生活している人々にとっては、日常生活から離れて心休まる時間を過ごすことや、食事や米作り、紙すき等の体験及び人との交流を楽しむなど、地域資源を活用した体験交流のニーズが高まっています。

本市は広大な市域を有し、中山間地域には独自に育まれた歴史及び伝統文化や、のどかな田園が広がる日本の原風景など、多彩な地域資源があります。

現在、中山間地域では13の団体が、住民自らの手で、これらの地域資源を活用し、地域づくりを推進するための地域の将来を計画して「地域の夢プラン^{*12}」を策定しています。

また、中山間地域においては、平成 25(2013)年度に地域資源を活用した民泊や各種体験を受け入れる住民や地域団体、体験・宿泊施設の運営団体等で構成される「周南学びの旅推進協議会」が設立されており、下表のとおり令和元(2019)年度現在で 112 家庭が民泊登録されています。

この協議会では、地域の活力や経済循環を図るため、豊かな自然、美しい景観、歴史・文化、食や生業、暮らし、技などが体験できる農山漁村生活体験ホームステイ（民泊）や体験活動を行う体験型教育旅行の受入れをしています。

■ 周南学びの旅推進協議会の受入実績

※R1(2019)年度は 3 月末現在の実績

年度 内 容	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R 1 (2019)	計
受入団体数	4	8	8	4	6	4	34
受 入 人 数	115	155	305	226	234	298	1,333
民泊登録家庭数	66	76	94	97	102	112	

このような体験や交流活動を提供する地域では、少子高齢化により、地域の伝統文化の継承や森林・棚田等の保全が困難となることが課題としてあり、活動できる人材の確保や資源を活用できる人材を育成していくことが重要です。

また、地域資源を活用する一方で、優れた素質に気付かずに埋もれている潜在的な資源は、有効活用によってはじめて資源となり得るため、新たな掘り起こしや磨き上げが求められます。



農業体験



おおどおりかのじ
大道理鹿野地の芝桜

3 地域資源の掘り起こしによる新たな観光の展開

本市の中山間地域が有する地域資源は、有効活用することにより、日常生活から離れて気分転換するための空間と時間を過ごす場所として大きな可能性を秘めていることから、新たに日常をときほぐす観光を重点推進施策として展開します。

取り組み例としては、景観に溶け込む案内板やベンチ等を遊歩道に設置することにより「田園の中の散策道」としての活用や、空き家の古民家を農家カフェ等によりリフォームするなど、地域資源を掘り起こし、組み合わせることで、地域に伝承されてきた技術や逸話を見聞できる場所や、癒しを感じられる空間への磨き上げを進めていきます。

この取り組みは、地勢的な特徴をはじめ、歴史や文化、風土等に加え、生活している人々の暮らしそのものや、季節など一瞬一瞬で見せる景色についても地域固有の資源として捉えることが重要であり、来訪者に対して五感で感じてもらうことを大切にするものです。

こうしたことから、地域住民が先人たちから受け継いだ「地域の宝物」である地域資源を再認識することで、地域への愛着や誇りにつなげる取り組みを展開します。

また、日常をときほぐす観光への理解を地域に広め、来訪者へのおもてなしの向上を図るために、人材育成等の受入体制を整備するとともに、シティプロモーション^{*13}と連携した効果的な情報発信等を展開していきます。



中須北の棚田



ホタルまつり

《主な取り組み例》

日常をときほぐす観光事業を構築（現状の調査・分析、計画、設計等）します。
事業を構築するための専門家を現地に派遣します。
モデル地域（地区）の選定及び事業を実証します。
地域内で活動する人材を育成します。
アンケート、モニターツアー等により、啓発事業を図ります。

■ 想定する地域資源

1 自 然	田園、棚田、湧き水、風景（山岳、森林、河川、海、島しょ、花木、星空）、ホテル 等
2 産業・経済	農家民泊、農家カフェ、農家レストラン、縁側ショップ、高瀬茶、自然薯、鹿野和紅茶、鹿野わさび、鹿野高原豚、ナシ、ブドウ、イチゴ、加工品 等
3 活 動	地域のイベント、地域づくり活動、地域の語り部、飲食・文化・芸能、人々が持つ知恵や技、間伐材の活用、市有物件の有効活用、文化財の活用、観光ガイド、ツアー造成、シティプロモーションとの連携（移住、ふるさと納税） 等
4 アクティビティ	散歩、ジョギング、サイクリング、ツリークライミング、釣り、花火 等
5 連携団体等	飲食業者、宿泊業者、交通機関、商工会議所、観光関係事業者、(一財)周南観光コンベンション協会、観光関連団体、地域グループ、文化・スポーツ施設管理者、周南学びの旅推進協議会（民泊） 等



須金のツリークライミング

第2節 まちなか観光の展開 【重点推進施策Ⅱ】

1 主旨

市街地（まちなか）は、文化や歴史等の豊富な地域資源に恵まれており、商業施設の立地及び今後の整備計画があることから、賑わいを創出する可能性が非常に高いため、地域資源を有効に活用し、関係機関と連携することで、交流人口の拡大による地域経済の循環及び活性化を図ります。

2 現状と課題

本市は、瀬戸内海を臨む沿岸部に大規模な工場が立地し、海岸線に沿った平野部に幹線道路やＪＲ山陽本線が横断しており、東西に長い範囲で市街地を形成しています。

東部の市街地は、ＪＲ徳山駅を中心に、中心市街地の都市基盤が形成される中、近年は中心商店街の空洞化が進むなど、かつての賑わいが失われてきましたが、平成30(2018)年に徳山駅前賑わい交流施設及び徳山駅前図書館が開設され、駅周辺ではテーマ性を持った徳山あちこちマルシェ等のイベントが市民の企画・運営により開催されるなど、賑わいを取り戻しつつある状況です。

市街地での集客力を高める主要な地域資源として、徳山駅前賑わい交流施設等を中心に、徳山動物園等の文化的施設や徳山下松港の沿岸部の周南工場夜景、スポーツコンベンションとして活用される麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター等の体育施設があり、また、集客イベントとして周南冬のツリーまつり等が開催されています。

西部の市街地においては、ＪＲ新南陽駅を中心に、永源山公園や学び・交流プラザ等の施設を活用し、サンフェスタしなんよう等のイベントが開催されています。

これらの地域資源の中でも、徳山動物園は、平成25(2013)年からリニューアル工事を進め、体験プログラムを開発するなどの取り組みにより年間入園者は約30万人前後で推移し、また、1,800人収容可能な周南市文化会館においても、昼夜に人気のある演劇やコンサート等を開催するなど年間約30万人の来館者があり、本市の単体施設としての主力的な集客施設となっています。

本市では、様々な分野から市街地活性化の取り組みが進んでいますが、交流人口の拡大に向けて、こうした豊富な地域資源の活用と、官民の連携が必要です。

また、来訪者の再訪意向を高めるとともに、家族や友人等への紹介による誘客につなげるため、地域資源の価値を高める取り組みや、シティプロモーションと連携した効果的な情報発信等を展開する必要があります。

さらに、観光やスポーツ、会議等による多くの来訪者が、目的の前後に、本市の他の観光素材、体験交流や飲食・宿泊等の観光コンテンツを利用することで、滞在時間の延長や観光消費額の増加につながることから、経済の循環及び活性化に向けて、市街地の魅力や優位性を活用した取り組みが求められています。

3 官民の連携による展開

市街地に関連する行政の施策としては、観光振興を含め都市開発や交通政策等の様々な分野があり、市街地の活性化に向けて、行政及び民間事業者等が連携し、来訪者に必要な情報の収集及び発信に取り組みます。

4 地域資源の連携による展開

広範囲で点在している徳山動物園や麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター、徳山駅前賑わい交流施設及び徳山駅前図書館などの施設や、各種イベントとの連携を図ることにより、来訪者の滞在時間を延長し、地域経済の循環及び活性化に取り組みます。

《主な取り組み例》

観光関係事業者や観光関連団体、行政などとの連携体制を構築します。
イベントや体験型コンテンツ等から飲食施設への誘導の確立に取り組みます。
「周南市の地酒で乾杯を推進する条例 ^{*14} 」をイベントや飲食店等に対して認知度の向上を図ります。

■ 市街地の主要な地域資源

区 分	内 容
花 木	周南緑地、緑と文化のプロムナード、東川緑地公園、永源山公園 等
歴 史・ 文 化	徳山動物園（リニューアル工事中）、周南市文化会館、周南市美術博物館、児玉神社、徳山毛利家墓所、遠石八幡宮、山崎八幡宮 等
スポーツ	麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター、麒麟ビバレッジ周南庭球場、津田恒実メモリアルスタジアム、学び・交流プラザ 等
食	徳山ふぐ、周防はも、周南たこ、地酒 等
体 験	古地図を片手にまちを歩こう、ふれあいウォーク、周南工場夜景、酒蔵巡り 等
イベント	徳山夏祭り、周南冬のツリーまつり、こどもっちゃ！商店街、周南みなとまつり、徳山あちこちマルシェ、サンフェスタしんなんよう、永源山公園つつじ祭り 等
その他	徳山駅前賑わい交流施設及び徳山駅前図書館、徳山下松港フェリーターミナル（山口県により再編整備中） 等

第3節 夜型観光の展開 【重点推進施策Ⅲ】

1 主旨

夜間の観光コンテンツは、飲食や宿泊等と関連性を持たせた場合、観光消費額の増加に向けて高い相乗効果を生み出し、地域の経済波及効果につながることから、地域資源を有効に活用した夜型観光を推進し、関係機関と連携することで、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図ります。

2 現状と課題

本市では、夜間に関連する主要な地域資源として、演劇やコンサート等を開催する周南市文化会館や、定期的にライブ等を開催する複数のライブハウス、イベントとしては周南冬のツリーまつり等があり、市内外から多くの来訪者を呼び込み、地域に賑わいをもたらしています。

また、本市の沿岸部には全国有数の石油化学コンビナートが広がっており、近年、産業観光やこの工場群の夜景を見て楽しむ工場鑑賞が全国的に脚光を浴びていることから、本市の重要な地域資源の1つとして、平成23(2011)年以降、周南工場夜景鑑賞ツアーを活用した事業展開を図っています。そのなかでも、民間によるクルーズツアーは、海上から工場に接近できる満足度の高い人気のツアーとして、下表のとおり利用者数が増加の傾向にあります。

このほか、本市には、工場群に関連する企業が多数立地していることから、会議やプラントの定期修理等を出張目的とした、宿泊を伴う来訪者が多く、市街地の宿泊施設や飲食施設の利用率を高めている状況です。

こうした夜間に開催される鑑賞ツアー等のイベント参加者や出張者が、目的の前後に、飲食や宿泊等の観光コンテンツを利用することで、滞在時間の延長、宿泊日数や観光消費額の増加につながることから、経済活性化に向けた取り組みが求められています。

■ 周南工場夜景鑑賞ツアー等の年度実績

※R1(2019)年度は3月末現在の実績

内 容 \ 年 度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1※ (2019)
1 団体向けクルーズ (大津島巡航艇)	313	258	252	256	136	201	375	306	958
2 少人数向けクルーズ (クルーザー・遊漁船)	137	46	64	33	57	26	38	184	433
3 タクシーツアー	—	—	—	—	—	74	53	94	26
4 バスツアー	45	99	31	49	0	0	27	27	0
5 ホテル宿泊プラン	56	64	72	62	92	86	80	48	76
合計(延べ人数)	551	467	419	400	285	387	573	659	1,493

3 夜景観光から夜型観光への転換

重要な地域資源である工場夜景の活用を中心に、夜間開催のイベント参加者や出張等による宿泊者に対して、イベントや会議等の開催前後の消費行動につなげるため、周南の夜だからこそ楽しめる飲食やアクティビティ等を提案・提供し、体験を促がす夜型観光を推進し、観光消費額の増加を目指します。

また、円滑に取り組むためには行政単独ではなく、観光関係事業者や観光関連団体などと連携し、役割分担を行う必要があることから、夜型観光を推し進める組織を設立し、情報の共有や、点ではなく面での事業展開を図ります。

《主な取り組み例》

観光関係事業者や観光関連団体、行政などとの連携体制を構築します。
イベントや体験型コンテンツ等から飲食施設への誘導の確立に取り組めます。
既存施設の夜間開設や新たな夜間イベントの造成に取り組めます。
「周南市の地酒で乾杯を推進する条例」をイベントや飲食店等に対して認知度の向上を図ります。

■ 想定する地域資源

1 自 然	風景（花木、星空）、ホテル 等
2 産業・経済	徳山ふぐ、周防はも、周南たこ、鹿野高原豚、地酒 等
3 活 動	観光ガイド、ツアー造成、 シティプロモーションとの連携（移住、ふるさと納税） 等
4 アクティビティ	周南工場夜景鑑賞の各種ツアー、コンサート、ライブ、ナイトスポーツ、 ツリーまつり、動物園夜間開園、花火、釣り 等
5 連携団体等	飲食業者、宿泊業者、交通機関、商工会議所、観光関係事業者、 （一財）周南観光コンベンション協会、観光関連団体、地域グループ、 文化・スポーツ施設管理者、周南学びの旅推進協議会（民泊） 等



周南工場夜景鑑賞ツアーの団体向けクルーズ



「周南工場夜景」のロゴマーク

第4章 基本施策の展開について

第1節 特色ある観光地づくり 【基本施策①】

1 現状と課題

近年の旅行形態は、団体から個人へと変化し、情報端末を使用して予約や購入をする割合が高くなり、SNS^{*15}を通じて情報の収集や発信を行うなど、個人の価値観や志向がより強く反映される傾向にあります。観光メニューについても、画一的なモノ消費からコト消費へシフトしている傾向にあります。

一方で、本市には、地域資源が豊富にあるものの、全国からの誘客力は弱く、観光動機の上位にある「食」は、観光地の選択に活用できていない状況です。

観光ニーズの変化に対応するため、行政や観光関係事業者だけでなく、地域住民も含めた幅広い関係者が連携しながら、多様な地域資源を地域の宝として愛着を持ち、磨き上げていく取り組みが求められています。

本市の主力観光地である徳山動物園においては、少子高齢化の進行の影響を踏まえ、若年層や高齢者層の取り込みなど、幅広い年齢層の多様なニーズへの対応が求められています。現在進めているリニューアル事業については、事業費が大きく長期的な計画であり、継続かつ安定的な財源確保と、施設整備のイニシャルコストや施設完成後のランニングコスト削減への取り組みが必要です。

2 地域資源の磨き上げによる魅力向上への取り組み

地域住民を含めた幅広い関係者と連携し、徳山動物園や周南コンビナートが織りなす工場夜景、太華山をはじめとする瀬戸内海国立公園などの自然景観や湯野、三丘、石船の3つの温泉などを磨き上げ、相乗効果によって魅力を高め、観光地として発展させていきます。

さらに、旅行のテーマや志向に沿って、本市ならではの「食」と組み合わせる付加価値を高めることで、観光客の滞在時間の延長を促し、観光消費額の増加を図ります。

3 徳山動物園の魅力向上への取り組み

徳山動物園では、施設の老朽化が進む中で、市街地にある動物園として観光や学習等の動物園が持つ機能の強化を図るため、計画的に全面的なリニューアル事業を進めます。

また、リニューアルされた施設の機能を十分発揮し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる新しい体験プログラムを開発し、動物園の魅力向上と入園者数の増加につなげていきます。

4 取り組み成果の検証

目標指標に対する取り組みの成果の検証に当たっては、「観光ツアーの参加者数」及び「徳山動物園の入園者数」を参考に評価を行います。

■ 徳山動物園の入園者数実績

年 度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
実績値（人）	288,320	308,265	266,680	282,505	280,542

《主な取り組み例》

周南工場夜景、徳山動物園などの魅力ある地域資源の磨き上げに取り組みます。
地域資源を活用したニューツーリズム（スローツーリズムやグリーンツーリズム等）の体験・交流型観光の充実を図ります。
体験ニーズに対応した観光ルートの開発など、オーダーメイド型観光の充実に努めます。
工場見学や酒蔵巡りなどの産業をテーマとした観光ツアーの充実など、産業観光の推進を支援します。
ビジネスや視察目的の来訪者向けの短時間で巡る観光ルートなどの開発に努めます。
来園者の増加に向けた徳山動物園のリニューアル事業に取り組みます。
地域活動に対して支援するとともに、観光地づくりを推進します。
体験型教育旅行の受入れにより、都市部と農山漁村地域の交流を推進します。



ペンギンプール



周南市徳山動物園



ゾウ舎

第2節 効果的な情報発信 【基本施策②】

1 現状と課題

本市では、県内からの観光客が大半を占め、県外からの割合は2割程度となっており、知名度の向上や、地域資源の魅力の効果的なPR、ニーズに応じた情報発信への取り組みが課題となっています。県外からの観光客増加には、マーケティングによってターゲットを設定し、多様なニーズに対応できる効果的な情報発信が必要です。

また、インターネット環境が充実した現在では、ウェブツールを活用した最新の観光情報の提供が求められています。

2 情報発信力の強化

シティプロモーションの取り組みとリンクした観光PRにより、本市のブランド力を高めます。山口県のGAP調査やイベント来場者へのアンケート結果などから、誘客のターゲットを定め、宣伝広告や観光キャンペーンを行うなど効果的に情報発信を行い、県外からの観光客の増加を図ります。

また、市内における情報共有や情報発信の連携を進め、地域住民の地域への愛着と誇りの醸成を図ることで、観光客の満足度を高め、リピーターの確保につなげていきます。

3 様々な手法を活用した情報発信

従来型の情報発信ツールである観光情報誌やポスター、看板、デジタルサイネージ^{*16}などに加え、SNSなどのウェブツールの特性を生かし、市内外へ向けて最新かつ多角的な情報発信を行います。

4 取り組み成果の検証

目標指標に対する取り組みの成果の検証に当たっては、「市ホームページの観光ページ閲覧件数」及び「SNSの『いいね』等の件数」を参考に評価を行います。

《主な取り組み例》

ホームページやSNSなどのウェブツールを活用した情報発信の充実を図ります。
雑誌、ポスター、各種メディアの様々な媒体を利用した情報発信を図ります。
広島県等の近隣都市からの観光客にターゲットを絞った観光キャンペーンを実施します。
市内の好きな場所、紹介したい場所等の愛着ある場所を募集し、情報発信を図ります。
徳山動物園や道の駅「ソレーネ周南」等の施設による情報共有や情報発信を図ります。

第3節 受入体制の充実 【基本施策③】

1 現状と課題

本市を訪れる観光客に対し、地域の魅力を直接伝える役割を担う観光ボランティアガイド等が高齢化による人材不足となっており、観光関連事業に携わる関係者の人材育成が急務となっています。

また、観光客のニーズが多様化する中で、一人ひとりの満足度を向上するためには、知りたい情報を的確に提供できる観光案内機能や、より利便性の高い場所での観光案内など、交通機関を含めた観光関連施設における、おもてなしや受入体制の充実が求められています。さらに、観光関連施設の老朽化対策にも取り組む必要があります。

2 受入体制の充実

市内観光地や地域の歴史、文化を紹介する観光ボランティアガイドの人材の確保に取り組み、おもてなし力を向上させ、各種ツアーの充実を図ります。

また、観光客が必要とする「宿泊」「食」「遊ぶ」「体験する」等の情報を提供できる場の整備に取り組むとともに、観光関連施設への情報共有と関係者の意識醸成を図ることで、接客サービスの向上に取り組めます。

3 観光施設の適正な維持管理

官民が連携して老朽化対策や観光客のニーズに沿った観光施設の適正な維持管理に努め、安心、安全を確保します。

4 取り組み成果の検証

目標指標に対する取り組みの成果の検証に当たっては、「ガイドツアー参加者数」を参考に評価を行います。

■ガイドツアー参加者数実績

年 度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
実績値（人）	2,050	1,728	1,756	1,345	1,363

《主な取り組み例》

観光ボランティアガイドによるツアーの充実を図ります。
観光客が知りたい情報を、ワンストップで提供できる場の充実を図ります。
観光客のニーズを捉えた満足度の向上につながる案内を充実させます。
観光関連施設の適正な維持管理を行います。

第4節 集客力につながる連携の強化 【基本施策④】

1 現状と課題

近年、個人旅行者の増加に伴い、自家用車やレンタカーを利用して、自由に観光地を巡る志向が高まっています。また、交通網の発達により移動時間が短縮され、ストーリー性の高い周遊型観光を目的とした観光客が増加しています。

本市では、防府市、下松市・光市との広域連携事業に取り組んでいますが、隣接県との連携や、観光関係事業者や観光関連団体、地域グループとの連携体制を強化し、より広域的で周遊性のある観光ルートの提供など、ニーズに即した観光サービスを展開する必要があります。

2 市内における連携

本市と、(一財)周南観光コンベンション協会をはじめとする観光関係事業者や観光関連団体、地域グループとの円滑な連絡体制を構築して情報共有と共通認識を図ります。その上で、多面的な意見を集約し、各主体の得意分野に反映させることで、観光ルートやイベント等の集客力アップにつなげます。

また、市内の高等教育機関における地域課題解決や人材育成の取り組みを活用し、新たな視点を事業に取り入れるなど、民間事業者を含めた地域の連携の輪を広げていきます。

3 広域における連携

広域的な観光サービスの提供により、県外からの集客力を高め、観光消費の拡大と地域経済への波及効果につなげます。

県内においては、山口県や、防府市との2市及び下松市・光市との3市の広域連携を強化するとともに、県外では、工場夜景都市として最も近い福岡県北九州市や、航路でつながる大分県と広域連携の取り組みを展開し、相乗効果によってお互いの交流人口の拡大を図ります。



広域連携による観光パンフレット

4 取り組み成果の検証

目標指標に対する取り組みの成果の検証に当たっては、「広域連携によるツアー・キャンペーン実施件数」を参考に評価を行います。

■ 広域連携によるツアー・キャンペーン実施件数実績

年 度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
実績値（件）	4	4	10	11	15

《主な取り組み例》

地域資源を活用した新たな商品開発など、民間事業者の観光産業に向けた取り組みを官民連携のもと推進します。

防府市との2市及び下松市・光市との3市の観光広域連携を強化し、広域エリアでの観光誘客活動に取り組みます。

徳山港開港 100 周年記念行事の推進を図ります。



防府市との観光 P R
徳山動物園ゾウのマスコットキャラクター「しゅうぞう」
防府観光マスコットキャラクター「ぶっちー」



下松市・光市との観光 P R

第5節 コンベンション誘致の推進 【基本施策⑤】

1 現状と課題

本市では、開催支援制度の周知が進み、コンベンション参加者の延べ宿泊者数は増加傾向にあり、麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンターを中心としたスポーツ系のコンベンションが多く開催されています。ビジネス系のコンベンションについては、文化施設等の十分な活用を図るため、幅広く情報収集を行い、分析を踏まえた効果的な誘致活動を展開することが必要です。

また、コンベンションの主催者等の利便性向上のためには、ワンストップサービスの充実など、受入体制の一層の強化が求められています。参加者に対しては、コンベンション終了後に市内での滞在を楽しむ機会を提供し、アフターコンベンション^{*17}への誘導を促すことで、地域経済の活性化を図る必要があります。

2 誘致活動の推進

企業・学会等の各種大会、会議などについて、様々な媒体を活用して情報収集を行い、既存施設の稼働状況や収容規模等の他、市内の新たな施設の機能を踏まえながら、対象を絞った効果的な誘致活動を展開します。

また、麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンターをはじめとするスポーツ施設の特長を生かし、市内の関係団体と連携を図りながら、各種スポーツ大会の誘致を推進します。

3 開催協力及びおもてなしの強化

主催者に対する支援として、開催費の一部を助成するほか、開催の準備段階から総合的に対応するワンストップサービス体制を充実させ、利便性の向上に努めます。

参加者に対しては、市内の関係団体と連携しながら、各種ノベルティ等の提供など満足度の向上と、会場における歓迎のぼりの掲出、特産品などの出張販売をはじめとした各種おもてなしの充実を図ります。



鹿苑山 漢陽寺

4 アフターコンベンションの充実

主催者の意向を踏まえながら、周南工場夜景鑑賞ツアーなどを活用した観光メニュー等の提供や、観光ボランティアガイドを活用し、交流を通じて地域の理解を深めてもらうなど、アフターコンベンションの魅力強化を図り、参加者の観光動機につなげていきます。

5 取り組み成果の検証

目標指標に対する取り組みの成果の検証に当たっては、「コンベンション参加者数」を参考に評価を行います。

■コンベンション参加者数実績

年	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
実績値（人）	130,692	201,394	99,451	92,323	118,302

《主な取り組み例》

各種大会、企業・学会等の会議及び研修会など、目標を定めた誘致活動を展開します。

民間団体等と連携し、ワンストップサービス体制の強化を図ります。

まち歩きコースや観光施設案内の充実など、アフターコンベンションの魅力強化を図ります。



市街地

第6節 国際観光の推進 【基本施策⑥】

1 現状と課題

近年、訪日外国人旅行者が大幅に増加している中で、山口県は官民一体となって国際観光の取り組みを進め、平成 30(2018)年の外国人観光客数は過去最高となりましたが、全国的には低位に位置しています。

こうした中、本市の外国人観光客数の県内のシェアは約 1%という状況であり、アクセス等の関係上、主に県西部地区が観光の中心となっているため、本市への観光誘客に、どのようにつなげていくのが課題となっていますが、市内の事業者や団体等において、訪日外国人旅行者の誘客に向けた機運が高まりつつあります。

今後、訪日外国人旅行者の誘客に対応するためには、市内における案内表示等の多言語対応や Wi-Fi 整備の他、市内における機運の醸成など、受入環境の整備にも取り組む必要があります。

2 国際観光の推進

本市においては、山口県や近隣自治体、観光関連団体や企業と連携を図るとともに、現地の旅行会社等とのネットワークの構築に努め、訪日外国人旅行者の動向やニーズを分析したうえで、狙いを絞った情報発信や地域資源の活用に取り組みます。

また、観光関連団体等におけるインバウンド事業の取り組みに対しては、積極的な情報の共有や発信、活動への相談対応等の支援を行うことで、観光誘客を図り、受入環境の整備の促進につなげていきます。



商談会

3 取り組み成果の検証

目標指標に対する取り組みの成果の検証に当たっては、「外国人観光客数」を参考に評価を行います。

■外国人観光客数実績

年	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
実績値（人）	3,543	3,887	3,833	4,213	4,849

《主な取り組み例》

山口県等と連携し、海外への情報発信を行います。

観光関連団体等の誘客の取り組みに対し、情報共有・発信などの支援を行います。

山口県や観光関連団体等と連携し、外国人観光客の受入環境の整備を促進します。

観光情報のデジタル化や多言語対応に取り組みます。



座禅体験



雅楽体験

第5章 計画の推進にあたって

本ビジョンの期間である5年間において、より大きな成果を生み出していくためには、行政、(一財)周南観光コンベンション協会等の観光関連団体、観光関係事業者、地域グループなど、市民の総力を結集し、将来を見据えた複合的な取り組みが重要となります。

また、地域資源を改めて見つめ直し活用することで、まちや地域への愛着や誇りの醸成につなげ、シビックプライドを育んでいきます。

第1節 共通認識と情報共有の確立

これまで本市では、様々な主体が連携して観光振興の推進に取り組んできましたが、更なる観光客誘致を図るためには、関係者が役割分担を踏まえ、より強固な連携を構築し、観光の目的や方向性の共通認識を図りながら、一体となって取り組みを進める必要があります。

そのためには、文化や歴史、食など様々な地域資源の情報を共有することで、多くの来訪者に本市の素晴らしさを伝え、共感してもらうことが重要です。

第2節 役割分担の明確化

市民・民間事業者・行政が共通理解のもと自らの役割を認識し、連携を図りながら、基本方針である「観光コンテンツ等の充実」及び「観光誘客の推進」に向けて、積極的な事業展開を図る必要があります。

1 市民の役割

- (1) 地域への愛着、誇り
- (2) 地域づくり活動への参加
- (3) 地域の自然、歴史文化、伝統行事等の保存及び継承
- (4) 地域の魅力の情報発信
- (5) 観光客に対するおもてなしの心での交流

2 民間事業者の役割

- (1) 観光産業への積極的な参入
- (2) 来訪者に対する接遇サービスの向上
- (3) 本市を代表する「食」「土産品」「特産品」の開発
- (4) 市民及び行政、教育機関との連携
- (5) 多様な業種とのネットワーク形成

3 市の役割

- (1) 効果的な情報発信
- (2) (一財)周南観光コンベンション協会をはじめとした観光関連団体、観光関係事業者との連携
- (3) 山口県との連携及び関係市町との広域連携
- (4) 市民、地域グループとの連携
- (5) 公共の観光施設のハード面の整備
- (6) 全庁的な観光振興の推進



石船温泉



石城山県立自然公園 黒岩峡



山崎八幡宮 本山神事



周南冬のツリーまつり

< 参 考 資 料 >

1 周南市の強み・弱み・機会・脅威の整理（SWOT 分析）

マーケティングにおける市場環境分析の一般的な手法として、SWOT 分析があります。

前ビジョンを策定する際に、SWOT 分析を行い本市の観光における、

S：強み（Strength）、W：弱み（Weakness）、O：機会（Opportunity）、
T：脅威（Threat）を以下のように分類し、観光の方向性を導き出し、観光振興につながる
事業施策を構築しました。

なお、交通事情等の変化している部分は修正し、各分類内容は抜粋して記述しています。

S 強み（Strength） ■ 国道 2 号と、自動車道 4 カ所のインターチェンジ ■ 新幹線「のぞみ」「さくら」が停車する JR 徳山駅 ■ 大分県竹田津港を結ぶ周防灘フェリーが運航 ■ 瀬戸内海国立公園に指定されている太華山、大津島などの半島部や島しょ部 ■ 中国自然歩道に指定されている長野山緑地公園 ■ 石城山県立自然公園に指定されている黒岩峡など ■ 特別天然記念物の八代のナベヅルが飛来 ■ 歴史的価値を有する回天訓練基地跡や平和学習施設の回天記念館 ■ 文化的価値を有する文化会館や徳山動物園、美術博物館、新南陽郷土美術資料館 ■ 工場夜景や晴海親水公園、周南冬のツリーまつりが日本夜景遺産 ■ 徳山下松港が特定重要港湾及び国際バルク戦略港 ■ 基礎素材型産業が集積した周南コンビナート ■ 30 室以上を有する宿泊施設や飲食施設が JR 徳山駅周辺に集積 ■ 温泉施設、各種スポーツ施設など 等	W 弱み（Weakness） ■ 市域に点在する観光地への二次交通の整備が不十分 ■ 大規模なコンベンションやイベント時に、宿泊施設のキャパシティが不足 ■ 近隣都市まで来た観光客を取り込めない ■ 集客力のある観光地や特色ある特産品が少ない ■ 市の知名度が低い ■ 市民、民間、まちづくり団体等と行政が一体となった取り組みが不十分 ■ 観光情報の一体的な発信を行うための活動が不十分 ■ 高齢者等の情報弱者に対する効果的な手段が不足等
O 機会（Opportunity） ■ 国の観光立国推進基本計画における、観光地域づくりや国際競争力強化などの取り組み ■ 県のみやまぐち観光推進計画における、観光力増強の取り組み ■ ニューツーリズムなどの体験型観光への人気の高まり ■ 環境学習の拠点となる徳山動物園のリニューアル ■ 平成 30 年に徳山駅前賑わい交流施設が開設 等	T 脅威（Threat） ■ 少子化の進行による旅行市場の縮小 ■ 中山間地域の急速な人口減少と高齢化 ■ 本市の財政状況の悪化 ■ 観光施設の老朽化に伴う維持コストの増大 ■ 国内観光旅行の市場規模の縮小 ■ 第一次産業従事者の減少 等

2 周南市の主要な地域資源

(1) 観光地点

項目	分類	主要な地域資源
自然	山岳	【瀬戸内海国立公園】太華山^{たいかざん}362m 【中国百名山】弟見山^{おとみやま}1085m、馬糞ヶ岳^{ばふんがだけ}985m 【山口県の百名山】太華山、弟見山、馬糞ヶ岳、長野山 1015m、助ヶ岳^{あさみがだけ}1004m、石ヶ岳 924m、飯ヶ岳^{いいがだけ}937m、若山 217m、四熊ヶ岳 504m、昇仙峰^{しょうせんほう}261m、観音岳 408m、大高神山^{おおたかかみやま}647m、金峰山^{きんほうざん}790m、千石岳 630m、烏帽子岳^{えぼしがだけ}697m ○岩尾山 510m（ライオン岩）、嶽山 364m、とおの山 290m
	河川	【石城山県立自然公園】黒岩峡 【2級河川7水系】錦川、島田川、末武川、西光寺川^{さいこうじ}、東川、富田川、夜市川^{やじ} ○高瀬峡、赤滝、魚切の滝
	離島・群島	【瀬戸内海国立公園】大津島、馬島、黒髪島 ^{くろみじま} 、裕島
	湖	○高瀬湖、菅野湖、向道湖
	花木	【桜】弾正糸桜、金松桜、石船温泉、天神山公園、せせらぎパーク、周南緑地公園、徳山動物園、回天記念館、緑と文化のプロムナード、東川緑地公園、永源山公園^{えいげんざん}、若山公園、東善寺川河川公園 【芝桜】大道理芝桜 【チューリップ】永源山公園 【ツツジ】永源山公園、周南緑地公園、黒岩峡 【シャクナゲ】天神山公園 【大賀ハス】周南緑地公園（西緑地） 【菖蒲】周南緑地公園（西緑地）、清流通り 【ササユリ】長野山緑地公園、天神山公園 【アジサイ】長野山緑地公園、烏帽子岳 【紅葉】長野山緑地公園、漢陽寺、高瀬峡、黒岩峡
	その他自然	（国）八代のツルおよびその渡来地、大玉スギ （県）秘密尾の氷見神社社叢^{しやまう} （市）明神の藪^{みたまのくさ}、二俣神社の社叢^{ふたまたのくさ}、高瀬先山のミズメ、周方神社の社叢^{しやまう}、興元寺のイチョウ、高水神社夫婦岩 【やまぐちの棚田20選】小畑地区、井谷地区、中須北地区、大道理鹿野地区^{おおいのりかのじ} ○中国自然歩道、ガマの群生地
歴史・文化	史跡	（県）潮音洞、若山城跡、勝栄寺土塁及び境内 （市）陶氏墓所、福川本陣跡、杉元相父子の墓所、徳山毛利家墓所、毛利元政の墓所、毛利元就の歯廟^{しひょう}、呼坂本陣跡 【平成の名水百選】潮音洞、清流通り ○回天関連施設（基地跡、トンネル等）、穴戸家墓所、堅田家墓所、山崎隊士の墓所 陣屋跡（徳山藩館邸跡）、粟屋家墓所、
	神社・仏閣	【神社】遠石八幡宮、山崎八幡宮、鷹飛原八幡宮、児玉神社、祐綏神社、辰尾神社、二所山田神社、熊毛神社、飛龍八幡宮、二俣神社、桜田神社 【仏閣】大成寺、鹿苑山漢陽寺、龍文寺、勝栄寺、龍雲寺、建咲院、眞福寺、法瀧院、 ○川崎観音、金子大明神（兼子様） ※ 下線の神社仏閣は「御朱印」対応あり
	庭園	○重森三玲作庭の6庭園（漢陽寺内）
	歴史的まち並み、旧街道	○旧山陽道、山代街道、鹿野街道
	美術館	○周南市美術博物館、周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館 ^{おさきまささあき}

(1) 観光地点（続き）

項目	分類	主要な地域資源
歴史・文化	記念・資料館	○回天記念館、新南陽民族資料展示室、熊毛歴史展示室、鹿野民族資料展示室、鶴いこいの里交流センター（鶴展示室）、津田恒美記念碑
	動・植物園	○周南市徳山動物園、山野草のエキ
	歴史的建造物	（国）松室大橋 （県）徳修館、山田家本屋 （登）旧日下醫院本館・別館・正門及び堀、周南市市長公舎洋館・和館、遠石八幡宮本殿ほか ○向道ダム、菅野ダム、川上ダム、島地川ダム
	その他歴史	（市）寺嶋忠三郎誕生の地、吉田松陰と寺嶋忠三郎訣別の地 ○遥排石、岩崎想左衛門重友像、飯田忠彦の碑、徳山七土碑、大阪城築城残石
健康・温泉	温泉地	【石城山県立自然公園】【名湯百選】三丘温泉 ○湯野温泉、石船温泉、呼鶴温泉
スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション施設	○キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター、キリンビバレッジ周南庭球場、周南市サッカー場、津田恒実メモリアルスタジアム、周南市陸上競技場 高瀬サン・スポーツランド、大津島ふれあいセンター、ゴルフ場（市内6カ所）
	キャンプ・宿泊	○せせらぎパーク、豊鹿里パーク、長野山緑地公園、高瀬サン・スポーツランド、新平ヶ原公園、烏帽子岳ウッドパーク、大津島ふれあいセンター
	釣り場	○徳山湾、河川、湖
	マリーナ・ヨットハーバー	【海の駅】シーホース ○長田フィッシャリーナ、グリーンヤマトマリーナ
	公園	【日本夜景遺産】晴海親水公園 ○長野山緑地公園、天神山公園、周南緑地公園、長田海浜公園・海水浴場、永源山公園「ゆめ風車」、三丘ゆめ広場「学びの椅子」
	その他レジャー施設	○ボートレース徳山
都市型観光	食・グルメ	○農家レストラン、ふぐ料理店、カフェ、鹿野ファーム、浜のえび店 ○鹿野高原豚、地酒、徳山ふぐ、周防はも、周南たこ、高瀬茶、果物（ナシ、ブドウ、イチゴ）、自然薯
	都市型観光	○道の駅「ソレーネ周南」、まちのポート
体験型	体験	【工場夜景】各種ツアー（船、バス、タクシー、宿泊） 【動物ふれあい】徳山動物園 【観光農園】須金フルーツランド、瀬田農園、福田果樹園 【調理、米づくり】大田原自然の家、豊鹿里パーク 【紙すき】鹿野高齢者生産活動センター、須金和紙センター 【写経・写仏・座禅】漢陽寺、祥雲寺、勝栄寺 【カッター訓練、魚釣り、石風呂】体験交流施設大津島海の郷 【アーチェリー、ツリークライミング、BBQ、ジャム作り】福田フルーツパーク
その他	他に分類されない観光地点	○工場群（夜景）、徳山駅前賑わい交流施設

(2) 行祭事・イベント

項目	分類	主 要 な 地 域 資 源
行祭事・イベント	行祭事	【春】桜まつり（各所）、大道理芝桜まつり、永源山つつじ祭り、高瀬の句をクイーン祭 【夏】ホテル祭り（各所）、徳山夏まつり、サンフェスタしなんよう、貴船神社夏祭り 【秋】かのふるさとまつり、周南みなとまつり、永源山ゆめ風車まつり、ムーンフェスタしなんよう、周南ふるさとふれあい物産展、こどもっちゃ！商店街、YOSAKOI ぶち楽市民祭、SHUNAN 萌えサミット、周南こどもゆめまつり 【冬】かの冬花火、周南冬のツリーまつり、大津島ポテトマラソン、工場夜景の日記念イベント 【通年】徳山あちこちマルシェ、とくやま夢横丁 【日本夜景遺産】【イルミネーション百選】周南冬のツリーまつり
	初詣	○遠石八幡宮、山崎八幡宮、二所山田神社、熊毛神社、飛龍八幡宮
	花火大会	○サンフェスタしなんようの花火、かの冬花火「銀嶺の舞」
	民族芸能	【無形民俗文化財】 （国）三作神楽 （県）式内踊、長穂念仏踊、山崎八幡宮の本山神事、花笠踊、諫鼓踊、周南市安田の糸あやつり人形芝居 （市）須々万八朔祭り、新畑神舞 【その他】堤区宿入奴、網代、鹿野さんさ踊り、手踊り、須々万地区盆踊り、炭路杖踊り、久保神楽、揉山、だいがら踊り、福川盆踊り、さんさ踊り、平家踊り、長持唄、貴船祭、神踊り
	映画祭	○周南映画祭
	他に分類されない 行祭事・イベント	○周南市文化会館（コンサート等）、ライブハウス ○周南市野球場、各テニスコート、熊毛総合射撃場

（国）（県）（市） それぞれ国、県、市から指定されている天然記念物や指定文化財です。

（登） 市から登録されている登録文化財です。

【瀬戸内海国立公園】 昭和 9(1934)年に国内初の国立公園として指定され、山口県地域は、昭和 25(1950)年及び昭和 31(1956)年の区域拡張により、それぞれ区域編入により指定されています。（環境省）

【中国百名山】 「山と溪谷社」より選出された、中国地方に位置する 100 の名峰集です。

【山口県の百名山】 平成 7(1995)年に刊行された書籍「山口県百名山」において紹介された山のリスト。

【石城山県立自然公園】 昭和 37(1962)年に、瀬戸内海を望める石城山と国民保養温泉地となっている三丘温泉を有する美しい自然と遺跡に恵まれた自然公園として、山口県により指定されています。

【2 級河川】 平成 26(2014)年現在で、山口県が河川法第 5 条第 1 項に基づき、106 水系、434 河川を指定し、管理しています。

【やまぐちの棚田 20 選】 平成 21(2009)年に、やまぐち棚田保全協議会により選定されています。

【平成の名水百選】 環境省によって 2008 年に選定された水の名所百か所です。

【名湯百選】 平成 11(1999)年に NPO 法人「健康と温泉フォーラム」が温泉療法医がすすめる温泉という観点から選んだ温泉です。

【日本夜景遺産】 民間の組織である日本夜景遺産事務局が選定する日本の夜景地

【イルミネーション百選】 ぴあ編集チームが全国からおすすめのイルミネーションスポットを厳選して紹介

3 用語解説

用 語	掲載頁	解 説
*1 地域資源	2	本市に存在する人や物などの総称であり、産業・観光においては、コンビナートや天然の良港、交通インフラなどで活用可能なものの総称。温泉や国立公園などの自然資源及び歴史的文化的なもの、食などの人為的なものも含む。
*2 インバウンド	2	外国人旅行者を自国へ誘致すること。日本では、海外から日本へ来る観光客を指す。
*3 日本版 DMO	2	官民協働で市場調査などの手法を用い、経営的な視点から地域の稼ぐ力を引き出すとともに、観光地域づくりの舵取り役として、観光地域づくりを進める法人です。「Destination Management/Marketing Organization」の略
*4 シビックプライド	5	自分自身が関わって、この地域をより良くしていこうとする、当事者意識を伴う自負心のこと。
*5 観光客動態調査	5	山口県が取りまとめる県内観光客数の調査のことで、主要観光地と宿泊施設及び各種イベントの観光客数に係数を乗じて算出
*6 コンベンション	6	各種大会、企業・学会等の会議や研修会など。
*7 GAP 調査	10	様々な地域資源に対する認知度と興味度などを調査し、現状を把握することで、誘客対策を設計する際の基礎資料となる調査。
*8 ニューツーリズム	12	従来の物見遊山的な観光旅行に対して、産業観光やスローツーリズム、グリーンツーリズムなどのテーマ性のある体験型観光の総称。
*9 交通結節点	13	同じ交通手段や異なる交通手段を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎの拠点。
*10 スローツーリズム	15	ゆっくりと、地域の人や文化、自然に触れながら、その土地の価値や魅力を発見する旅行スタイル。
*11 グリーンツーリズム	15	農山漁村に滞在し、農林漁業体験を楽しみ、地域の人々との交流を図る余暇活動のこと。
*12 地域の夢プラン	15	地域住民の自主的・主体的な話し合いを通じて、地域の困りごとの解決や魅力の拡大など地域活性化に向けた具体的な取り組みを定めた計画。
*13 シティプロモーション	17	地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を創出し、地域内外に効果的に訴求し、それにより、人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能としていく活動。
*14 周南市の地酒で乾杯を推進する条例	20	本市の地酒による乾杯を推進することにより、伝統文化への理解を深め、郷土愛の醸成を図るとともに、地元食材や関連事業の持続的発展に寄与することを目的とする条例。（令和元(2019)年 9 月 25 日施行）
*15 SNS	23	フェイスブックやツイッターなどに代表される、登録された利用者同士が交流できるインターネットサイトの会員制サービス。「Social Networking Service」の略。
*16 デジタルサイネージ	25	表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって、映像や文字を表示する情報・広告媒体。
*17 アフターコンベンション	29	各種大会、企業・学会等の会議や研修会後の催しや懇談会などの行事。

4 第3期周南市観光ビジョン策定の経過

令和元年 9月 7日	第1回 周南市観光ビジョン 策定委員会 開催
10月 7日	周南市観光ビジョン 策定アドバイザー 講演会
	第2回 周南市観光ビジョン 策定委員会 開催
10月 21日	第3回 周南市観光ビジョン 策定委員会 開催
11月 18日	第4回 周南市観光ビジョン 策定委員会 開催
12月 23日	第5回 周南市観光ビジョン 策定委員会 開催
令和2年 2月4日 ～3月3日	周南市観光ビジョン パブリックコメント実施
3月	第3期周南市観光ビジョン策定

5 アドバイザー及び第3期周南市観光ビジョン策定委員

(1) アドバイザー

上田 英夫 一般財団法人 山口県観光連盟 専務理事兼マーケティング統括

(2) 第3期周南市観光ビジョン策定委員会

	氏 名	区 分	プロフィール
会 長	朝水 宗彦	学識経験者	山口大学経済学部 観光政策学科 教授
副会長	中川 明子		徳山工業高等専門学校 准教授
委 員	安土 雅隆	経済団体等	徳山商工会議所 職員
"	竹永 富夫	旅館業	湯野温泉事業協同組合 事務長
"	山田 みゆき	観光関係団体	一般財団法人周南観光コンベンション協会 専務理事
"	小野 拓二		一般社団法人周南ツーリズム協議会 道の駅「ソレーネ周南」 駅長
"	福本 勝		鹿野ブランド創出研究会 委員
"	平 義彦	街づくり団体	中心市街地活性化協議会 タウンマネージャー
"	重永 和美	観光施設	徳山動物園 飼育展示 1 担当係長
"	高橋 勝己	公募委員	農園主（周南学びの旅推進協議会 副会長）
"	岡崎 麻衣		看護師（結婚を機に市外から移住）
"	石田 京子		通訳案内士（結婚を機に海外から移住）



第3期周南市観光ビジョン

令和2(2020)年3月

編集・発行：周南市（地域振興部 観光交流課）

〒745-8655 山口県周南市岐山通1-1

電話：0834-22-8372

FAX：0834-22-8428
